一 般 質 問 通 告 書

令和4年8月15日

議 会 議 長 様

議席番号 8 番

議員氏名 平 川 忠 良

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 手話言語条例の制定を	手話は、耳が聞こえない人や聞こえづらい人が物事を考え会話するときに、手指や体の動き、顔の表情を使って視覚的に表現する独自の語彙と文化体系をもつ言語です。 ろう者（耳の聞こえない人。特に手話を日常言語としている人。）は、互いに理解し、知識を蓄え、文化を創造するための手段として、手話を大切に育んできました。 障害者の権利に関する条約や障害者基本法においては、手話が言語であることが明記されています。令和4年4月1日現在、埼玉県内における手話言語条例の制定状況は、39市町村、62%で制定されており、手話の普及や手話を使用できる環境整備が進んでいます。 そこで、以下伺います。 (1) 今日までの検討結果は。 (2) 福祉課の手話言語条例の認識は。 (3) 手話言語条例の制定を提案するが、町の見解は。	町長 副町長 福祉課長

8月15日 午前・午後 1時25分 受理

質問事項	質問要旨	指定答弁者
2. 障がい者にやさしいまちづくりを	(1) 杉戸町では現在、東武動物公園駅東口通り線の整備や旧杉戸小学校跡地活用事業でのコミュニティセンター建築、公園整備計画が進行中です。健常者や障がい者などすべての町民が安心安全に過ごせる様々な配慮が必要です。東武動物公園駅東口通り線の整備や旧杉戸小学校跡地活用事業では、障がい者に対してどのような対策や配慮を心がけて進めているのか。 (2) 町では令和4年度、5年度の2か年で新庁舎整備基本構想を策定します。障がい者への配慮を含めた構想の策定を提案するが、町の見解は。 (3) 埼玉東部消防組合消防局が実施している「NET 119」があります。これは聴覚障がいや言語・発声に障がいのある方を対象とした緊急通報システムです。携帯電話、スマートフォンを使い、素早く119番に通報するシステムです。携帯電話のGPSをとらえ通報者の位置確認ができます。利用には事前に登録が必要です。 障がい者団体から杉戸町でもとの要望があり、調べたところ、実施していることがわかりました。 NET 119は、平成27年5月1日に運用を開始していますが、この間、町はどのように周知を図ったのか。	町長 副町長 福祉課長 市街地整備推進室長 管財契約課長 担当課長
3. 窪田新町長の新しい杉戸への挑戦とは	窪田町長は今回の町長選挙において、「今すぐやるべき9つの課題に挑戦します」との選挙公約の中に、スポーツ施設の拡充が掲げられています。 公明党杉戸町議員団として毎年の予算要望で、総合体育館の建設と柔剣道場建設を掲げてきました。 この二つの要望に対する考えと合致しているのか、窪田町長の見解を求めます。	町長